

2026年 3月18日

京成電鉄株式会社

～人と環境にやさしい駅へ～

## 二和向台駅のリニューアル工事が完了しました

千葉県産木材を使用した待合スペースと  
太陽光発電及び回生電力吸収装置を設置します

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:天野 貴夫)では、かねてより進めておりました二和向台駅におけるリニューアル工事が完了し、2026年3月20日(金)始発時より、新設した待合スペースの供用を開始いたします。

二和向台駅改札内に、千葉県の「ちばの木ふれあい空間創出事業」を活用し、当社として初めて千葉県産の木材を使用した待合スペースを設置しました。ご利用のお客様にやすらぎの空間を提供するとともに、千葉県産木材の利用促進を通じて森林の健全な育成を支援いたします。

その他、今回の工事に併せ、SDGsの観点から、ホーム上家に太陽光発電及び列車のブレーキ時に発生する回生電力を吸収し、駅電源として再利用する回生電力吸収装置を導入いたします。

京成電鉄では、今後も地域社会との連携を強化し、沿線地域の持続的発展を目指してまいります。

本件の概要は次頁の通りです。



## 二和向台駅リニューアル工事について

1. 工事完了日  
・2026年3月20日(金)
2. 工事内容  
・待合スペースの設置  
・太陽光発電及び回生電力吸収装置の設置



以 上

### 《参考》

#### 「ちばの木ふれあい空間創出事業」について

多くの方々に「木のよさ」を感じてもらう機会を創出することにより、千葉県産の木材の利用を促進するため、公共建築物に加え、多くの県民が利用する展示効果の高い民間施設において、千葉県産の木材による内装や木製品等の設置に係る経費を支援する千葉県の事業。

#### 「回生電力吸収装置」について

列車のブレーキ時に発生する回生電力を架線から取込み、駅で使用する電力に変換するための装置。